

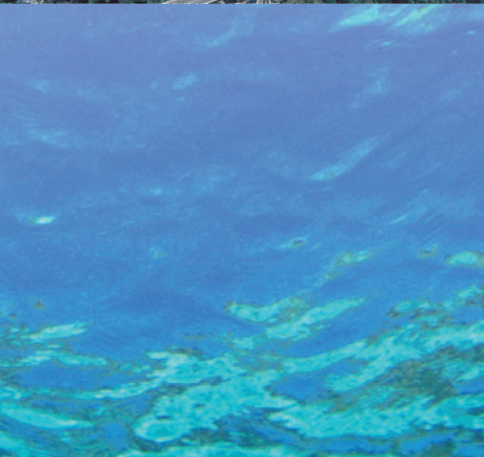


香川大学 瀬戸内圏研究センター

Seto Inland Sea Regional Research Center



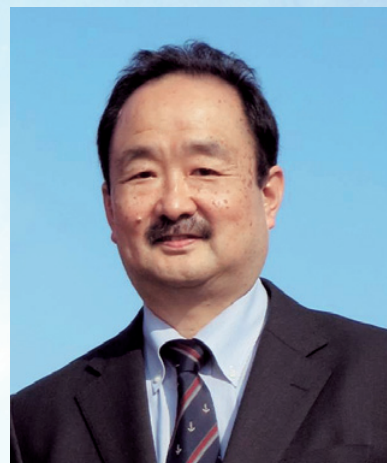
香川大学瀬戸内圏研究センターは、瀬戸内圏地域が抱える諸課題の解決に向けて瀬戸内圏研究を推進するとともに、地域の知の総合拠点となることを目指します。



センター長挨拶

本センターは平成21年3月1日に設立されました。設立以来、瀬戸内海の低次生物生産環境研究、地域文化と観光資源の開発研究、かがわ遠隔医療ネットワークの充実と電子生涯健康カルテや電子母子健康手帳の実現に向けたプロジェクト研究を推進し、着実に成果をあげて参りました。当センターの研究成果や活動状況はホームページにおいて報告しております。当センターは瀬戸内圏地域に根差した研究を進め、貢献して参ります。皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

香川大学瀬戸内圏研究センター長
多田 邦尚



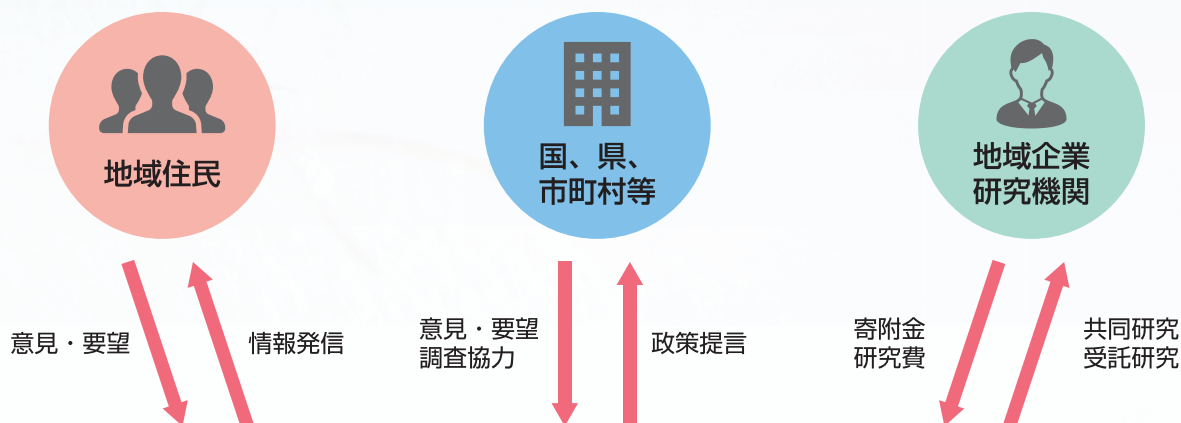
センター紹介

目的

瀬戸内圏の諸課題を解決するべく調査・研究を行い、その成果を地域社会に還元させ、地域の活性化を図るとともに、地域の財産である瀬戸内圏が育んできたその風土や豊かな環境を保全・継承させることを目的とします。

主な業務

- (1) 解決すべき新たな課題の発掘のために、行政や企業等との協議の場を設けるとともに、瀬戸内圏に関する活動団体や地域住民からも幅広く意見を収集し、それらを反映させるための施策を検討する。
- (2) 行政や企業等との地域連携による受託研究や共同研究を推進する。
- (3) 瀬戸内圏研究に関するデータベースを作成し、様々な情報の集積、分析及び発信を行う。
- (4) セミナーやシンポジウム等を開催し、研究成果を幅広く公開する。
- (5) 調査・研究を行った成果に基づき、国、県、市町村等の行政機関に対し、政策提言を行う。



香川大学瀬戸内圏研究センター



環境改善・
保全・管理

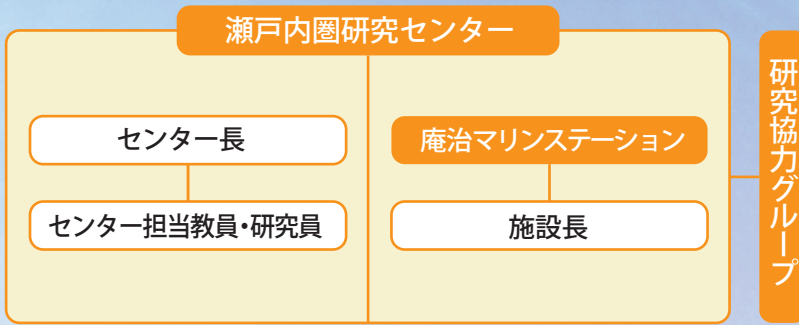


住民の健康・
福祉・社会的支援



観光（エコツーリズム
やグリーンツーリズム
など）・地域活性化

組織図



スタッフ

瀬戸内圏研究センター

センター長 多田邦尚
 副センター長・庵治マリステーション施設長 一見和彦
 特任教授 原 量宏

瀬戸内圏研究

本学では、瀬戸内圏研究を重点的施策と位置付け、学内経費に加え各種外部資金を獲得し、「瀬戸内圏研究」を行っています。

1 沿岸海域の低次生物生産過程と環境研究

瀬戸内圏研究センター長、農学部 教授 多田邦尚

香川県は海面魚類養殖(ハマチ)発祥の地であり、水産養殖業が盛んな反面、過去には赤潮被害に苦しめられてきました。また、近年は漁獲量低下やノリの色落ち問題が深刻化しています。本プロジェクトでは、地元香川県と連携し、干潟・藻場を含めた沿岸海域の低次生物生産過程とその環境研究を実施しています。「好漁場は浅海域から」のコンセプトで、水産養殖場の環境管理も含めて水産環境の保全・修復を考えます。さらに、沿岸域の生態系をどのように守り維持し、里海をどのようにして実現するのかを、自然科学及び社会科学の立場から追求します。また、香川県の大規模貯水池等の水質改善にも取り組みます。



2 観光による持続可能な地域づくりのアクションリサーチ

経済学部 教授 原 直行

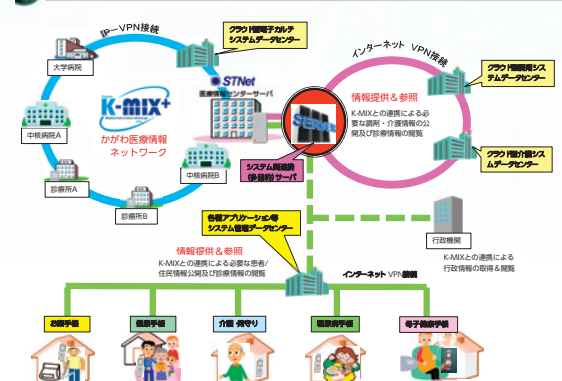
瀬戸内海の島しょ及び周辺の地域ではアートによって多くの観光客が訪れたり、若い移住者が増えている地域があります。単なる物見遊山的な観光ではなく、地域の自然環境・文化歴史・産業を体験を通して学び、住民との交流を通じて共感につながる観光の創造により、関係人口・移住定住者を増やし、持続可能な地域づくりの実現に取り組みます。

3 瀬戸内圏における生涯健康カルテ (EHR/PHR) 構想

瀬戸内圏研究センター 特任教授 原 量宏

香川県ですでに10年以上の実績のある「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」は、機能を大幅に増強しK-MIX+(プラス)として地域医療連携に威力を発揮しています。このK-MIX+の基盤と香川県で開発された周産期電子カルテネットワーク、超小型モバイルCTGの技術を組み合わせることにより、生まれる前から高齢者まで生涯の健康を守る医療ICTネットワークを実現します。

K-MIX+との連携によるEHR/PHR構想



庵治マリンステーション



庵治マリンステーションは、四国最北端の庵治半島先端に位置し、周辺は自然の砂浜や岩礁帯といった自然環境に恵まれており、本学における瀬戸内圏の海洋環境に関する教育・研究の前線基地となっています。施設には海洋調査艇“カラヌスⅢ”（19トン）及び小型作業船“ノープリウスⅡ”（1.1トン）が配備されているほか、多岐にわたる最新の海洋観測機器及び栄養塩類の自動分析装置が備えられており、これらの設備を用いたフィールド実習や調査研究が行なわれています。本施設では、瀬戸内海の問題、特に沿岸域の栄養環境と生物生産性、養殖漁場の海域環境、干潟を含めた浅海域の生態環境について研究を行っています。



アクセス

◆ 香川大学各施設所在地 ◆



お問い合わせ

学術・地域連携推進室研究協力グループ
 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1
 TEL 087-832-1316 FAX 087-832-1319

庵治マリンステーション
 〒761-0130 香川県高松市庵治町鎌野4511-15
 TEL&FAX 087-871-3001